

令和8年度第1回稲沢市観光基本計画策定委員会 会議録

【日時】令和8年6月22日（月）午後2時～午後3時

【場所】稲沢市産業会館1階 大会議室

【出席者】稲沢市観光基本計画策定委員会委員（敬称略）

大澤 健	和歌山大学経済学部教授
川 義満	一般社団法人愛知県観光協会専務理事
水谷 豊	稲沢市観光協会事務局長
阿部一洋	稲沢商工会議所事務局長
高木 央	平和町商工会事務局長
鈴木康仁	尾張大國霊神社権禰宜
林 和伸	善光寺東海別院住職
富田 力	国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所河川公園課長
鈴木太郎	愛知県観光コンベンション局観光振興課長
内藤邦将	稲沢市経済環境部長
大口 伸	稲沢市教育委員会教育部長
石田泰弘	地域の現場で活躍しており、稲沢市の観光振興に必要と認められる者・稲沢市文化財保護審議会委員
佐野浩崇	推進委員会公募
岩田那佑	地域の現場で活躍しており、稲沢市の観光振興に必要と認められる者・推進委員会公募
服部みどり	地域の現場で活躍しており、稲沢市の観光振興に必要と認められる者

【事務局】	寺澤佳秀	稲沢市経済環境部商工観光課長
	小林 敦	稲沢市経済環境部商工観光課主幹
	北村有希	稲沢市経済環境部商工観光課主任
	山田尚子	稲沢市経済環境部商工観光課主任

(オブザーバー)

酒井仁志	稲沢市観光協会観光コーディネーター兼事務局次長
岩橋洋宗	稲沢市観光協会事務局主幹

【議事次第】

- 1 課長挨拶
- 2 委員委嘱
- 3 自己紹介

- 4 正副委員長の選出
- 5 委員長講演
- 6 協議事項
 - (1) 会議の運営方法について
 - (2) 第3次稲沢市観光基本計画の策定方針及び策定スケジュールについて
 - (3) 基礎調査の方法について
- 7 その他

【会議の概要】

[事務局]

定刻となりましたので、ただ今から稲沢市観光基本計画策定委員会を始めさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。私は、委員長が選出されるまでの間、この会議の進行を務めさせていただきます、経済環境部商工観光課主幹の小林敦です。よろしくお願いいたします。はじめに、会議の開催に当たり、商工観光課課長の寺澤よりご挨拶申し上げます。

1 課長挨拶

[事務局]

本日はお忙しい中、稲沢市観光基本計画策定委員会に御出席いただき、誠にありがとうございます。

また、このたびは第3次稲沢市観光基本計画の策定に当たり、本委員会を設置いたしましたところ、快く委員をお引き受けいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、観光を取り巻く環境は大きく変化をしており、またインバウンド需要の回復などにより、観光振興への期待も一層高まっております。稲沢市では、国府宮はだか祭をはじめとする歴史・文化資源に加え、植木・苗木産業や四季折々の自然など、多様な地域資源を有しております。こうした本市ならではの魅力を活かしながら、交流人口の拡大や地域活性化につながる観光振興を進めていく必要があると考えております。

このたび策定いたします「第3次稲沢市観光基本計画」は、令和10年度からの10か年計画として、本市の観光施策の方向性を定める重要な計画となります。策定に当たりましては、社会情勢や観光ニーズの変化を踏まえ、将来を見据えた観光まちづくりを進めてまいりたいと考えております。委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から忌憚のない御意見を賜りますとともに、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 委員委嘱

[事務局]

委員の皆様には既に委嘱状をお渡しさせていただいております。本来であれば、委嘱状を直接交付させていただくところですが、このような形に替えさせていただきましたことをご了承ください。

3 自己紹介

[事務局]

本日は、委員を委嘱させていただいてから、初めて開催する会議でありますので、恐れ入りますが、皆さまに自己紹介をお願いしたいと存じます。大変恐縮ですが、お手元の名簿の先頭にお名前がございます大澤 健様から、自己紹介をお願いしたいと存じます。

<名簿掲載順に自己紹介>

[事務局]

ありがとうございました。なお、本日の会議につきまして、栗林委員、小澤委員、若江委員、岩田委員、吉次委員につきましては、職務の都合等により欠席される旨ご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。

続いて、事務局側の自己紹介をさせていただきます。

<事務局の自己紹介>

[事務局]

なお、この度の観光基本計画の策定に当たり、稲沢市の観光業務を担っていただいております稲沢市観光協会につきましても、事務局のオブザーバーとして委員会への出席いただきたいと考えております。ご理解のほどよろしく願いいたします。

<稲沢市観光協会の自己紹介>

4 正副委員長の選出

[事務局]

続きまして、委員長、副委員長の選任につきまして、お願いをさせていただきます。選任については、「稲沢市観光基本計画策定委員会設置要綱」第6条第1項の規定により、委員の互選となっております。どなたか推薦をお願いいたします。

[委員①]

私の方から僭越ではございますが、推薦させていただきたいと思っております。

委員長には、愛知県を含め全国各地で観光まちづくりに携わっておられる大澤 健委員を推薦申し上げます。また、副委員長には愛知県における観光振興主体として中心的な役割を担っております、愛知県観光協会専務理事の川 義満委員をお願いしたいと考えます。

[事務局]

ありがとうございました。ただいま、和歌山大学経済学部教授の大澤 健委員を委員長に、愛知

県観光協会専務理事の川 義満委員を副委員長にとの発言がございました。

お諮りをいたします。委員長については大澤 健委員に、副委員長については川 義満委員をお願いしてもよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[事務局]

異議も無いようですので、委員長については大澤 健委員が、副委員長については川 義満委員が選任されました。恐れ入りますが、大澤委員長、川副委員長におかれましては、正面にありません委員長席、副委員長席へのご移動をお願いします。

<委員長、副委員長は、各席へ移動>

[事務局]

それでは、大澤委員長、川副委員長から就任のご挨拶をいただきたいと思えます。

<大澤委員長、川副委員長の順に挨拶>

5 委員長講演

[事務局]

本計画の策定にあたり、稲沢市として「観光まちづくり」を推進していくためには、観光関係者をはじめ委員の皆様の間での意識共有が何よりも重要と考えております。

本委員会の委員長でいらっしゃいます和歌山大学経済学部教授の大澤様は、全国各地で観光による地域活性化に取り組みされており、愛知県の観光事情にも精通されております。

そこで本日は、大澤委員長より「観光まちづくり」についてご講演をいただきます。

それでは大澤委員長、よろしくお願ひいたします。

<観光まちづくりをテーマとした講演>

[事務局]

大澤委員長、ありがとうございました。

それでは、改めまして議事を進めてまいりたいと存じます。

会議の議事進行につきましては、要綱第7条第3項の規定により、委員長が務めることになっておりますので、以後の会議の取り回しにつきましては、大澤委員長をお願いいたします。

6 協議事項

(1) 会議の運営方法について

[委員長]

これより議事に入りたいと思います。

最初に協議事項（１）会議の運営方法について、事務局より説明をお願いします。

= [事務局] =

【資料１「稲沢市観光基本計画策定委員会設置要綱」及び資料２「稲沢市観光基本計画策定委員会の運営に関する確認事項」について説明】

[委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご意見、ご質問等がある方は挙手をされまして、指名後にご発言いただきますようお願いいたします。

[委員長]

特に質問等もないようですので、委員の皆様にお諮りいたします。

次回以降の会議の運営方法について、事務局案どおり進めていくことでよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[委員長]

ご異議も無いようですので、次回以降の会議は、先ほど事務局から説明があった運営方法に基づいて進めさせていただきます。

（２）第３次稲沢市観光基本計画の策定方針及び策定スケジュールについて

[委員長]

次の協議事項に移ります。協議事項（２）第３次稲沢市観光基本計画の策定方針及び策定スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

= [事務局] =

【資料３「第３次稲沢市観光基本計画策定の方針」、資料４「第３次稲沢市観光基本計画策定組織について」について説明】

[委員長]

事務局からの説明が終わりました。ご意見ご質問のある方は挙手の上、指名されてからご発言願います。いかがでしょうか。

[委員①]

資料３の１ページから２ページにかけて「稲沢市の現状と課題」として整理がされていますが、掲げている内容については「課題」というよりは「問題」なのではないかと考えます。このよう

な計画を作る時に「課題」と「問題」を履き違えると違う方向性に進んでしまうので注意が必要なのではないかと思えます。具体的に言うと、2 ページに記載の「稲沢市観光協会に本市の観光施策の中心を担うだけに十分な組織運営力が備わっていない」とありますが、「備わっていない」のが「問題」であり、「備わっていないからどうするのか？人をどう変えるのか？人をどう育てるのか？」という点が「課題」なのではないかと感じます。

[事務局]

現状とあるべき姿のギャップが「問題」であり、それをどう進めていくかを明確にするのが「課題」だと思います。おっしゃる通り、記載内容はどちらかと言うと問題点として挙げさせていただいております。基本方針を謳うにあたって、「問題」を挙げさせていただいて、「課題」として進むべき方向性については、皆様方からのご意見をいただき、ご議論いただくなかで、最終的に「目指すべき姿」として整理していければと思います。

[委員長]

これだけ社会情勢が変わる中での今後 10 年間の計画ですので、そういった意味では一番重要な部分は「目指すべき姿」です。どこに向かっているのか、ということをきちっと提示しておくということと、それを実際に実行していくためにどういう体制を整えていくかを考え、「10 年間、これはブレずにやっていく」という市の方針を定める計画づくりなのだと思います。

現行計画も期間が 10 年間です。当時も 10 年は長いのではないかという意見もありましたが、当時の担当者が「観光まちづくりをブレずにやっていきたい」ということで策定し、実際観光まちづくりをやってきて、今、成果が出てきているように感じます。さらにステージアップしていくための計画を作っていくことがこの委員会の最大の狙いなのだと思うので、今事務局が言われた通り、「目指すべき姿」をこれから定めるなかで具体的な課題を皆さんから挙げていただくことになると思いますのでよろしくお願いします。

[委員長]

他に質問等も無いようですので、委員の皆様にお諮りいたします。
第 3 次稲沢市観光基本計画の策定にあたり、先ほど事務局から説明があった策定方針及び策定スケジュールをベースとして以後作業を進めさせていただくことでよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[委員長]

ご異議も無いようなので、以後の策定作業は先ほど事務局から説明があった策定方針及び策定スケジュールをベースとして進めていくこととします。

(3) 基礎調査の方法について

[委員長]

次の協議事項に移ります。協議事項（3）基礎調査の方法について、事務局から説明をお願いします。

= [事務局] =

【資料5「基礎調査の方法について」について説明】

[委員長]

事務局からの説明が終わりました。ご意見ご質問のある方は挙手の上、指名されてからご発言願います。いかがでしょうか。

[委員①]

先ほどの質問と関連しますが、資料3で「現状と課題」が整理されているなかで、改めて市民・市外の方に調査を行うということについて、市が把握している課題や問題を補足・補強する内容で設問を想定されているのか、もしくは、全く違う意図なのか、お聞かせください。

[事務局]

アンケート結果というのは、委員長が先ほど言っていたように、10年間ブレない基本計画の裏付けであることが理想かなと思います。仮に想定と違う結果が出たとしても、その点は受け止めた上で議論をして、良い形で取り込んでいくべきだと考えております。

[委員②]

スケジュールの部分についてですが、アンケートを収集できるタイミングはイベントが一番良いと思います。現在想定されている時期だと9～10月となっており、大きなイベントが稲沢まつりしかなく、カレーフェスティバルやそぶえイチョウ黄葉まつり等、来場者が多いイベントは11月に行われると思いますが、実施時期は伸ばせないでしょうか。

[事務局]

まず、開始時期については第2回策定員会以降になります。その後、第3回策定委員会において分析結果まで出したいと考えておりますので、事務作業等を考慮して設定したものです。おっしゃる通り、大きなイベントでのアンケート収集が理想ではありますが、必要がありましたら他のイベントでの実施も検討させていただきます。

[委員長]

おっしゃる通りですので、可能な範囲で対応いただければと思います。

[委員③]

アンケートの周知についてはどのようにお考えでしょうか。

[事務局]

市 HP、市公式 SNS への掲載を考えております。併せて、観光施設やイベント会場、駅等へ掲示して周知を図ります。

[委員③]

稲沢市民の方はもちろんですが、稲沢市外の方のご意見というのも多く取り込めるような周知の仕方を工夫していただければと思います。

[委員長]

回収目標数が 400～500 となっていますが、市内・市外合わせてでしょうか。

[事務局]

あわせて 500 を想定しておりました。

[委員長]

統計的に意味のある数字は 300 からだと思うので、市内・市外で合計 600 集まるのが理想だと思います。

[事務局]

稲沢まつりでは、市外の方の回収はそれほど多く見込めないため 300 は難しいかもしれませんが、各 300 ずつの回収が見込めるよう努力してまいります。

[委員長]

他に質問等も無いようですので、委員の皆様にお諮りいたします。
基礎調査の方法について、先ほど事務局から説明があった調査方法をベースとして以後作業を進めさせていただくことでよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[委員長]

ご異議も無いようなので、以後の策定作業は先ほど事務局から説明があった調査方法をベースとして進めていくこととします。

6 その他

[委員長]

以上をもちまして、本日本日予定しておりました協議事項はすべて終了しました。慎重審議いただき、誠にありがとうございました。その他、事務局から何かあればお願いします。

[事務局]

本日、第1回の策定委員会を開催させていただきましたが、今後につきましては、先ほどご説明した策定スケジュールに従い、現状と課題の分析、アンケート調査等を進め、その進捗状況や実施結果を委員の皆様へ順次ご報告させていただきます。これらを踏まえ、計画総論、各論へと審議検討を進めてまいりたいと考えますので、引き続きご支援、ご協力並びに忌憚りの無いご意見、ご提言を賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、次回（第2回）の会議ですが、9月18日（金）14時から、本日より同じ会場（産業会館大会議室）にて開催を予定しております。内容としましては、「稲沢市の観光における現状と課題の分析報告」、「今後の調査内容の確認」を中心に進めてまいりたいと思います。

詳細につきましては、文書にて後日改めてご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。

最後に、本日の会議への出席に伴う謝礼につきましては、後日、指定の口座へ振り込ませていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、会議を閉会させていただきます。本日は長時間にわたり慎重審議いただき、誠にありがとうございました。

以上